

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

| | | | | | | | | | | |
|----------------------|---|---|---|-----------|---|-----------|--|----------------------------|--|--|
| 事業番号 | | 05 03 01 | 中期総合計画主要施策番号 | | 3-03,3-05 3-07 | 担当課 | 部・課 | 衛生部医療政策課国保・医療福祉室 | | |
| 事業名 | | 福祉医療費給付事業 | | | | | 内線 | 2348 | | |
| | | | | | | | E-mail | kokuho@pref.nagano.jp | | |
| 事業の概要等 | 事業の目的 | 乳幼児、障害者、老人、母子家庭の母子及び父子家庭の父子の医療費の自己負担への助成を通じ福祉の増進を図る。 | | | | | | | | |
| | 事業の必要性 | [現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)] ・乳幼児、障害者、老人、母子家庭及び父子家庭の医療費負担が増加してきている。 ・障害者や低所得者の経済的な安定と自立促進のための支援が求められている。 ・安心して子どもを生み育てることへの負担や不安感が大きい社会になっている。 [原因分析(ギャップが発生している原因は何か)] ・少子高齢社会の進行や医療技術の進歩による医療費増加に伴う、障害者自立支援法の改正及び医療保険制度改革の実施により、医療費の自己負担分が伸びている。 ・国の財政悪化に伴う社会保障費の削減、景気後退による収入の減少が低所得者の生活を圧迫している。 [課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)] 福祉医療費給付事業は、医療を受ける機会が多く医療費がかかる者及び低所得の障害者等に対する経済的支援という位置付けであるが、近年乳幼児については少子化対策・子育て支援としての位置付け、知的及び精神障害者については、自立と社会参加支援としての位置付けが加わっており、これらの医療費の自己負担に対し、支援する必要がある。 | | | | | | | | |
| | | 事業内容 | 市町村が行う乳幼児、障害者、老人、母子家庭及び父子家庭に対する、医療費の自己負担分の助成に関する事業(福祉医療費給付事業)に要する経費に対し補助(補助率:〔県〕1/2) | | | | | | | |
| | | 実施期間 | S46 ~ | 根拠法令等 | 福祉医療費給付事業補助金交付要綱 | | | | | |
| | 成果と達成状況 | 事業の目指す成果 | 達成度(期待どおり)の判定基準(H20) | | | 達成状況 | | 評価 | | |
| | 乳幼児、障害者、老人、母子家庭の母子及び父子家庭の父子の経済的負担を軽減し、福祉の向上を図る。 | 乳幼児、障害者、老人、母子家庭の母子及び父子家庭の父子といった福祉医療費給付事業対象者の医療費自己負担分について、必要な補助を行う。 | | | 乳幼児、障害者、老人、母子家庭の母子等及び父子家庭の父子といった福祉医療費給付事業対象者の医療費自己負担分について市町村が行った助成に要する経費に対し、補助を行った。 | | a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下 | | | |
| 事業コスト | 区 分 | | 単位 | 19年度 | 20年度 | 21年度(当初) | 20年度の概要 | | | |
| | 最終予算額 (A) | | 千円 | 4,268,057 | 4,057,890 | 4,056,788 | 国庫・県単 | 県単 | | |
| | 決 算 額 (B) | | 千円 | 4,268,057 | 4,057,890 | | 実施方法 補助 | | | |
| | B(H21はA)のうち一般財源 | | 千円 | 4,268,057 | 3,057,890 | 4,056,788 | 歳出節別内訳等 | 補助金: 4,057,890 (単位: 千円) | | |
| | 概 算 人件費 | 従事する職員数 | 人 | 12.00 | 12.00 | 12.00 | | | | |
| | 概算人件費 (C) | | 千円 | 85,680 | 85,788 | 85,788 | | | | |
| 概算事業費 (B(H21はA) + C) | | 千円 | 4,353,737 | 4,143,678 | 4,142,576 | | | | | |
| 事業実績 | 内 容 | | 単位 | 19年度 | 20年度 | 21年度(予定) | 左記以外の20年度の実績 | | | |
| | 福祉医療対象者数 | | 人 | 232,050 | 240,950 | 225,500 | 長野県福祉医療費給付事業検討会第1次報告を踏まえ、受給者負担金を21年10月から500円に引き上げることとした。 | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 事業の課題 | 区 分 | | 判 定 ・ 説 明 | | | | | | | |
| | 事業のニーズの変化 | | 増加 | 横ばい | 減少 | 判定の説明 | 21年度も、長野県福祉医療費給付事業検討会の検討が行われる予定であり、その検討結果を踏まえて、県の補助制度の見直しを検討する予定である。 | | | |
| | 県の関与を見直す余地 | | 余地なし | 当面余地なし | 余地あり | | | | | |
| | 有効性を高める余地 | | 余地なし | 当面余地なし | 余地あり | | | | | |
| | 効率性を高める余地 | | 余地なし | 当面余地なし | 余地あり | | | | | |
| | 課題の総括 | | 21年度の検討会については、市町村長の意向調査の結果を踏まえ、検討会において検討項目を定め、検討を進めていく予定としており、その検討結果を踏まえて、県の補助制度の見直しを検討する予定である。 | | | | | | | |